



交野市議会議員 みうら 美代子

【自宅】〒576-0033 交野市私市6-18-28 TEL・FAX:072-893-0199

<http://www.miura-miyoko.net/>

【議会】〒576-8502 交野市私部1-1-1 TEL:072-892-0121(代表)

みうら美代子

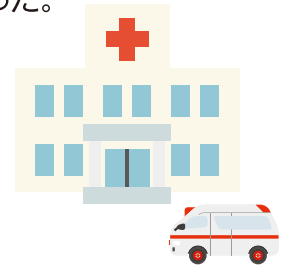
検索

## みうら美代子の視点①

### 〈交野病院側との訴訟の和解について〉

**【経緯】**交野病院より産婦人科の開設を含めた総合病院としての移転・新築計画案が示され、交野市としても医療行政の充実を図ることができると判断し、天野川清掃工場跡地を随意契約にて売却したが、産婦人科の開設に至らなかったとして1億4,550万円の違約金を請求。産婦人科の開設及び違約金支払いの協議も整わなかったために、平成28年6月議会定例会で上程提議された裁判だった。

**【公明党が提訴そのものに反対した理由】**訴訟の和解という議案には「産婦人科の開設は随意契約の重要な要件」と書かれている一方で、当時の随意契約書にはその条件として「産婦人科設置」は明記されていなかったという矛盾がある。さらに、それまで交野市は産婦人科の誘致や開設にどれほど尽力されていたのか。議会での一般質問などを通し、私は数年にわたって何度も産婦人科開設の必要性を訴え質問させていただいたが、何の動きもなかったといっても過言ではない。医師不足などの問題で、産婦人科開設ができないことをいわゆるお金で決着がなされれば、今後だれが産婦人科の開設に尽力するのか。“市民置き去りの裁判”に不安が残る状況であった。



**【和解案に対して一定の評価】**今回上程された議案によると、裁判所が示した和解案に、「被告である交野病院が原告に対し、産婦人科を開設するべく今後も継続的に努力することを約束する」との文言が書かれており、和解案に対して一定の評価をした。違約金については、「被告は原告に対して解決金として3,600万円支払うこと」という裁判所の和解案に対して、市の顧問弁護士が妥当と判断を下し、市はもとより、当初強く反論された病院側も一定やむなしと言われている以上は妥当な金額だと判断できる。一方で、産婦人科の開設が随意契約の前提であったと裁判所も認めたところだが、契約の際に市の条件提示が曖昧であったことは否めない。市が主張されるように、随意契約の重要な要件であったなら、なおさら契約相手方はじめ市民に対して説明ができるよう具体的に明確に書いておくべきで、それが市の責務であったと考える。

**【結論】**交野病院は係争中のときも、交野病院内での病児保育の実施や交野市民にとって中核的総合病院としての役割とともに、介護事業をはじめ地域包括支援体制の構築にも尽力してこられたとお聞きしている。さらに、今回の和解案を受け入れた後



も、「交野市とともにお互いに協力・連携して市民の健康に貢献したい気持ちは今までと変わらない」と病院側から伺っている。これらのことから、訴訟を継続しても市民に利益があると考えにくく、早急に和解をし、交野病院と市が一層協力して市民の健康と福祉の向上にがんばっていただきたいと要望して、訴訟の和解について賛成する。



## ■市立幼稚園の民営化について



【質問】交野市立幼稚園民営化基本方針の策定を、公共施設の再配置計画より先だって検討し、さらに移転候補地も議会に示された。唐突な感じがするが。また、これまで公立として運用されてきたノウハウなどの継承等を含めて大丈夫なのか？

【答弁】待機児童解消は子育て施策において最重要課題と認識しているが、施設老朽化も喫緊の課題となっており、公共施設等総合管理計画の策定と並行して提案。民間への移管については「公私連携幼保連携型認定こども園」という手法により提供すべき教育・保育等の内容を民営化後も市が関与し、また、専門家による第三者評価を受審させ、適切な指導監査を実施する。

【質問】公立の保育の比較がアンケート結果から示され、障がい児の受け入れや給食関係、看護師配置に関して留意が必要とまとめられているが現状は。

【答弁】障がい児の受け入れ：第1保育所3.6%、第2保育所8.3%、第3保育所5.8% / 民間園5.3%、5.0%、4.7%、低い所で2.2%、0.7% 看護師配置：公立全園 / 民間7園中2園 となっている。

【みうら美代子の主張】1園民営化することで、運営コストは6,000万円 / 年間効果が見込まれるとのこと。待機児童解消は定員増などこれまでも経費がかかってきたが、効率的な財政運営も必要だ。一部で公立が良くて私立が良くないと民営化に反対の意見がある。そもそも保育の水準に公立と私立に差があつていいのだろうか。課題の解決が重要だと考える。私立つまり民営は良くないという議論ではなく、課題があれば課題解決により公民の差がない保育の安定を図るべきだと思う。障がい児の受け入れや看護師配置などに差があり、しかもそこに課題があるのなら、早急に解決すべきだと思う。私立保育所は障がい児補助金の活用で、現在は公立と極端な差があるように見えないが、財政が厳しい交野市において民営化でのコスト効果を活用し、市内の保育水準を向上させ子育て支援をさらに充実していただけるよう要望する。

## ■私市植物園について—すばらしい生涯学習の場—

【要望】年間平均35,000人が訪れる私市植物園。6月7日に秋篠宮さまがご視察に来られたことは、新聞にも報道された。市立大学の施設であるが、有料で広く市民に開放されている。交野市の緑の基本計画にも広域的な緑の拠点として植物園を認知され、いわふね自然の森や大阪市立大学理学部附属植物園などと連携。市民の生涯学習に大いに貢献し得る施設として、植物園と交野市との連携の仕組みをぜひとも構築していただきたく、また、交野の高齢者が気軽に何度でも訪れることができるよう入場料の補助を要望する。



みうら美代子が気になるアレコレを調査! トピックス2017

### ■File 006: 交通安全対策 / 逢合橋東交差点

手前の横断歩道は通学路です。しかし、車がスピードを出して左手から横断歩道内に入ることが多いため、警察立ち会いのもと、安全に児童や高齢者が歩道を横断できるよう検討。結果、車道にゼブラ帯を設けて、車の進入に少しブレーキがかかるようにしました。

